



Weekly Report

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウイリアム・ビル・ボイド

創 立:1980年(昭和55年)1月10日
会 長:遠山 堯郎
幹 事:天野 正明
会報委員長:稲垣 豊
例 会 日:毎週木曜日 PM12:30~
会 場:ヒルトン名古屋
事 務 局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
T E L:052-211-3803
F A X:052-211-2623
M A I L:2760nagoya@mizuho.rc.jp
U R L:http://www.mizuho.rc.jp/

第1304回例会

ロータリー理解推進月間

2007年1月25日(木) 晴 第26回

司 会:(岩崎道夫会場委員)
齊 唱:「それでこそロータリー」
ビ ジ タ ー:あまRC 後藤袈裟美さん

会長挨拶

遠山堯郎会長

なかなか景気の良さが実感できない昨今ですが、街角で突然に「政府の景気対策と株式市場についてご意見を」とマイクを向けられた時、また海外のニュースを見ている場合、10代の学生でも自分なりの考えを述べていますが、日本では大人でも政治の話が苦手な人が多いようです。それは『政治が自分の生活を決定するもっとも大きな要因』だということを知っているか、又は『政治は自分とは関係が無いもの』と考えているのかの何れかだと思います。政治と生活の因果関係は、きっと、風と桶屋の関係より近いはずだと思います。国民は政治の風を敏感に感じ取れることが大切な気がします。過去の例から、政治と私達の生活との関係を考えてみますと、まず、1995年にタイムスリップしますと、1995年は、野茂が米大リーグで新人王を獲得し、阪神淡路大震災のあった年です。この年の日本経済はと言うと、1月の円相場は1ドル=およそ101円、日経平均はおよそ19,700円でしたが、4月には1ドル=79円75銭のプラザ合意以降の高値を記録し、国内産業は売れば売ほど損をするという状況になりました。この現象が『円高デフレ』と言われ、このままでは、日本経済は円高デフレによって崩壊し、日経平均も10,000円を割り込むと言われていた危機的な状況でした。ところが突然、6月末にクリントン大統領がドル安からドル高へと為替政策を180度転換したことで、円が急落し(円安になり)9月には1ドル=100円をあっさり回復しました。この米国の為替政策の転換によって、日本の株式市場は上昇し、輸出企業を中心に企業業績も回復して、日本経済は回復軌道に乗ることが出来ました。日本および世界の政治動向のことを知っている投資家と、知らない投資家では、投資成果に相当の差が出来ます。ドル高になると、米国内の輸入物価が下落するので、自然に物価が下落してインフレが収まります。逆に、ドル安になれば輸入物価が上昇し、米国の国内産業も値上げしますから、自然に物価が上昇します。つまり、デフレ懸念にはドル安が有効ということです。この米国の為替政策の転換によって、日本経済は円高デフレから解放されて円安になり、円安メリットの銘柄が恩恵を受けことが分るようになれば、政治を見て投資戦略を考えることが出来ると言います。私にそんな観察力はありませんが、現在、少しの金額をインターネットで株取引をしています。損ばかりです。



幹事報告

天野正明幹事

- ・本日は第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)です。
- ・本日例会終了後、第2回クラブ奉仕協議会です。13時35分より4階「梅の間」です。
- ・次週2月1日(木)は第5回クラブアッセンブリーと第8回理事会です。13時35分より4階「梅の間」です。
- ・同じく2月1日(木)は新入会員研修会および懇親会です。場所はいずれも「ろく」で行います。16時より研修会、18時より懇親会です。

- ・橋本章さんが12月31日付けで退会されました。
- ・大和哲郎さんが9月1日から6月30日まで、細川達也山が1月1日から6月30日まで休会です。
- ・台北延平RC会員各位が12月21日来名されましたが、その時の出迎え、及び見送りのバス代34,250円と、同じく食事会補助として63,000円をニコボックスより拠出しました。
- ・メールボックスに松井善則さんの事業所及び自宅住所変更のお知らせが入っています。名簿添付用の訂正シールも入っています。ご利用ください。

出席報告

八木沢幹夫出席委員長

会員73名 出席60名 (出席計算人数53名)

出席率88.68% 1月18日は補填により 94.34%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋南	2/7(水)			2/28(水)
名古屋北	2/9(金)	2/16(金)※	2/23(金)	
名古屋東	2/5(月)	2/12(月)※		
名古屋守山	2/7(水)		2/21(水)	
名古屋みなと		2/16(金)		
名古屋東南	2/7(水)		2/21(水)	2/28(水)
名古屋中				2/26(月)
名古屋名東	2/6(火)		2/20(火)	
名古屋名北	2/7(水)		2/21(水)	
名古屋千種	2/6(火)	2/13(火)※		
名古屋栄	2/5(月)◆	2/12(月)※		
名古屋名南	2/6(火)◇		2/20(火)※	2/27(火)◇
名古屋昭和	2/5(月)	2/12(月)※		
名古屋西南		2/15(木)		
名古屋錦	2/6(火)		2/20(火)	
名古屋東山	2/8(木)			3/1(木)
名古屋葵	2/8(木)※		2/22(木)※	3/1(木)※
名古屋空港		2/12(月)※		
名古屋清須	2/6(火)			
尾張中央			2/21(水)	
豊山一城北				2/27(火)

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。
◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス委員長

- ・先日、亡母の葬儀の際には、ご多用の中、多くの皆様にご列席頂きご丁寧なご弔意並びにご芳志を賜り、誠にありがとうございました。高木 勝さん
- ・1月26日は私の、1月30日は妻の誕生日です。本多 清治さん
- ・2月1日は私の誕生日です。田中 政雄さん
- ・1月23日は妻の誕生日でした。宇佐美貞夫さん
- ・野崎さんの古希を祝って。守谷 巖樹さん

- ・岩崎道夫さんに会社の仕事でお世話になることになりました。有難うございました。 **遠山 堯郎さん**
- ・お久しぶりです。明けましておめでとうございます。 **赤宮 信賢さん**
- ・一昨日名古屋女子大の高校へ通っている孫娘のマーチングバンドがCBCで放映されました。 **中川啓二朗さん**
- ・2月分のメイキャップをしました。 **内田 久利さん**
- ・平野哲始郎さん、守谷巖樹さんに昨晚私の古希を祝って貰いました。料理もワインも大変美味しく楽しい夜を過ごさせて頂き、有難うございました。 **野崎 洋二さん**

高木 勝さん会葬御礼

先日の母の葬儀には、大変お忙しい中を多くの皆様にご弔問賜り、大変有難うございました。亡き母も喜んでいることと思います。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。本当に有難うございました。

第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)

議長:遠山堯郎会長

ただいまから第4回クラブフォーラムを開催致します。進行を天野幹事に宜しくお願いします。

進行:天野正明幹事

本日は、中間決算書案、名古屋瑞穂RC細則改定案、名古屋瑞穂RC青少年育成基金規則案、2007～08年度クラブ役員・理事及び委員会構成案の4つの議題について審議を行いたいと思います。

中間決算について:平野哲始郎会計

ただいまから、2006年～07年度の中間決算報告書案(昨年7月1日から12月31日まで)を申し上げます。



収入の部

入会金150,000円、会費6,540,000円、例会費8,052,000円、R財団寄付648,420円となっております。ポール・ハリス・フェローやロータリー財団の友の会員が増加した事によるものです。米山記念奨学会寄付178,000円。米山功労者、功労者候補の増加によるものです。地区大会協力金355,000円、来訪者会費64,000円、雑収入は利息、その他を含め824円、当期収入合計は15,988,244円となっております。前年度繰越収支差額と合わせまして、23,227,162円でございます。

支出の部 その1

はじめにロータリー組織関係の支出です。RI関係の支出は、人頭分担金186,120円。規定審議分担金7,920円。小計194,040円。全国関係では、ロータリー財団寄付648,420円、米山記念奨学会寄付178,000円、ロータリーの友購読料100,800円、小計927,220円となっております。地区関係は、地区資金360,000円、地区大会協力金360,000円、地区事業費172,800円、ガバナー月信購読料108,000円、小計1,000,800円です。これら全ての小計が2,122,060円となります。

支出の部 その2

例会費(I.M.を除く)6,349,766円。例会費(I.M.)923,000円。来訪者会費64,000円。小計7,336,766円となります。次に委員会活動費ですが、クラブ奉仕委員会10,000円。出席委員会46,725円で、100%出席の記念バッチに充てられております。ニコボックス委員会132,300円。夫人誕生祝花に充てられております。会員増強及び退防委員会6,000円。クラブ広報委員会474,219円で、ウィークリーの編集・印刷費などです。親睦活動委員会660,613円。プログラム委員会は卓話者への車代などで160,000円となっております。ロータリー情報委員会29,536円。ロータリー手帳他の支出です。会場委員会15,830円。職業奉仕委員会68,850円。社会奉仕委員会176,000円。市内22RC分担金、他の支出です。環境保全委員会65,000円。ホテル関係の経費です。新世代委員会12,000円。ローターアクト委員会482,929円。4RC分担金、他の支出です。国際奉仕委員会18,000円。R財団49,875円。米山奨学委員会8,000円。小計2,415,877円となります。

支出の部 その3

賃借費1,275,120円は事務局の家賃となっております。人件費2,471,486円で、事務局員給料、賞与、社会保険に充てられております。会議費345,879円で、会議室代、公式会議登録料などです。通信費164,976円には電話代、切手代が含まれております。旅費交通費85,390円。事務局員通勤費、タクシー代などです。事務消耗品費688,970円はクラブ計画書、プロジェクター、DVDデッキなどに充てられました。印刷費8,904円。雑費145,296円。地区出向費99,000円。管理費の小計は5,285,021円です。従いまして当期支出の合計は、17,159,724円。当期収支差額△1,171,480円。次期繰越収支差額6,067,438円です。

ニコボックス収支計算書

当期収入合計1,483,673円。前期繰越収支差額7,585,063円。収入合計9,068,736円。これに対して支出は地区新世代委員会への寄付50,000円。振込料210円。当期支出合計が50,210円。当期収支差額が1,433,463円。次期繰越収支差額が9,018,526円となっております。

貸借対照表

資産の部、一般会計では現金26,484円。普通預金5,923,476円。普通預金(米山)1,000円。定期預金4,000,000円。未収金33,908円。貯蔵品(バナーなど)487,350円。ニコボックスは普通預金2,018,526円と定期預金に7,000,000円預けてあります。これらを合わせました資産の部の合計額は、20,745,074円です。負債の部は、一般会計では未払金1,477,139円。30周年事業資金4,000,000円。預り金31,971円。前受金150,000円。剰余金6,067,438円です。ニコボックスの剰余金は9,018,526円で、合計20,745,074円というのが貸借対照表の結果です。

監査報告:森恒夫君

去る1月17日、事務局にて監査を実施いたしました結果、中間収支計算書・貸借対照表につきまして、適正と認めました。

議長:遠山堯郎会長

この中間決算報告案について、ご賛同頂けますでしょうか?(拍手)多数の拍手、有難うございました。続いての議題をお願いいたします。これはガバナー補佐訪問の時に指摘を受けた事につきまして、長期ビジョン委員会で検討した結果でございます。天野幹事お願いいたします。

名古屋瑞穂RC細則改定案:天野正明幹事

先ほど会長からお話がありましたように、ガバナー補佐訪問の時に、片山主水ガバナー補佐からご指摘をうけた点でございますが、第1条と第2条が新しく付け加えたらどうかという条文です。内容につきましては、第1条は会員のあるべき姿が書いてあり、第2条の内容はクラブから会員に対してなすべき責務を明記してあります。今まで定款を見ましても、こういった文章は抜け落ちているように見受けられますので、1条、2条に据えることに意義があるのではないかとということで、検討しました結果、これを1条2条に据えてはいかかかと言うことであります。また第3条ですが、現在は「選挙」となっておりますが、「選挙」をしている訳ではないので「選任」と変更すると言うことでございます。また第4条の理事会も、現在は理事会の人数が18名と決められておりますが、周年行事、地区の委員長等の役員になった場合、理事会のメンバーになる必要がございますが、現在のところ20名に近い理事・役員の数になっておりますので、どうしてもこの項目を変更する必要があります。トータルで20名と変更し、理事は現在11名を限度としておりますが、それを14名に。なおかつ会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計、S.A.Aは役員であると言うことを、はっきり明記する必要があるのではないかとということで、銘文化したということです。また第5条の第7節に副幹事の項目を設けました。従いまして、第1条と第2条が入りますので、現行の細則の条文が2条ずつ繰り下がることとなります。以上が細則の改定案の主なものになります。

名古屋瑞穂RC「青少年育成基金」規則案:天野正明幹事

こちらは会長方針にもありますが、R財団や米山奨学会といった基金とは別に、当クラブで独自の基金を設立し、基金を利用した人が当クラブに来て、成果をご報告頂けるような身近な基金を作った

らどうかと言うことの詳細になります。第1条から第11条まで、基金に関する条文を作りました。当初拠出金は400万円とし、現在ニコボックスにごぞいますお金を振り替えてはどうかとの案が出ております。基金には3種類ございます、基本基金というものと、積立金および運用益があり、基本基金につきましては使用出来ないものとし、積立金は、使用する目的で積み立てるものとし、運用に関しましては、理事会の承認なしには運用できないものとし、ものとし、目的は、名古屋市のみならず、広く世界の青少年健全育成並びに、飢餓と貧困根絶のための教育・啓発活動推進のためとなっております。これは25周年記念事業の時にウガンダに建設した小学校をフォローするものでもあります。また、運営するためには青少年育成基金委員会を設けなければなりません。これについては、長期ビジョン委員会が兼任し、運営してはどうかと言うこととございます。その他、会員意識の高揚を図るため、9月と6月を基金月間として募金を募ります。また、基金に10万円以上寄付した方には表彰を致します。なお、この規則の施行は平成19年4月1日からを検討しております。

それに従い、細則にも青少年育成基金委員会の項目を入れる必要がございますので、現在第3節の社会奉仕委員会の中に、青少年育成基金委員会の項目を入れ、第12条の最後に第6節としてこの規則の内容を入れると言うこととございます。

先ほど申しましたが、細則の変更について、長期ビジョン委員会の位置づけを明確に示す必要がありますので、第10条第5節でそれを明示しました。現在長期ビジョン委員会は仮の委員会でございまして、議題が無くなれば解散する状態に置かれておりますが、改めてこの委員会を考えた時に、ある意味、諮問委員会的な立場として、他の委員会にはない性格を持っており、中長期的な問題(ホテルやウガンダ)を討論する場としてはどうかと言うことと、このような条文を設けました。

議長:遠山堯郎会長

有難うございました。本来ならば全て読み上げる所ですが、重要な箇所のみご説明頂きました。瑞穂RC細則改定案について、ここでの採決は酷でございますが、半年以上かけて長期ビジョン委員会で検討したこととございます。ご質問のある方はございませうか?ご賛同頂けます場合は拍手をお願いいたします。(拍手)どうも有難うございました。

次に名古屋瑞穂RC「青少年育成基金」規則案でございますが、こちらも本来ならば全て読み上げるべき所を、時間の関係で重要な部分のみと致しました。これについてご質問のある方はございませうか?ご賛同頂けますでしょうか?(拍手)どうも有難うございました。では次の議題をお願いいたします。

次年度組織について:西本 哲副幹事

お手元の2007~08年度クラブ役員・理事および委員会構成案資料をご覧ください。役員・理事構成案につきましては、前回ご承認頂いておりますので、今回は委員会構成案についてご説明いたします。(2007~2008年度クラブ役員・理事及び委員会構成案は4ページの表を参照)



議長:遠山堯郎会長

ただいま西本 哲副幹事より説明がありました通りでございます。ご賛同頂けます場合は拍手をお願いいたします(拍手)有難うございました。最後に、昨年からの検討を重ねておりますホテルについての審議をお願いいたします。

ホテル飼育放流事業について:高須洋志さん

当クラブが15年来に渡り行って参りましたホテルの飼育事業につきまして、理事会再審議の結果をご報告申し上げます。

前回12月21日のCFにおいて、会員の皆様から寄せられた質問や提言を踏まえまして、1月18日の理事会に再審議を行いました。その結果、飼育中止を再決議いたしました事をご報告申し上げます。その理由とし、以下5項目を上げ、皆様の御理解を



得たいと思います。

1. 飼育の発端となりました市役所水質保全課に話を伺いました。当時は環境問題がクローズアップされ、市としても名古屋にホテルの住めるきれいな水と言う点で、水質浄化に取り組んでおりました。私どものクラブが相談に伺った当時、候補地として天白川、山崎川があがりましたが、いずれも適した水質状況になく、熱田神宮に人工のせせらぎを作って飼育を試みるという事になりました。この事業を継続することにより、ホテルの自然発生する環境づくりを目指したものと考えられますが、15年以上たった現在、残念ながらその環境は整っておりません。ホテルが自然発生するには、餌となるカワニナが自然発生しなければならず、カワニナが生息するためには、カワニナの餌となる苔が生えなければなりません。つまり生態系の人工的再生のハードルは予想よりもはるかに高いという事実を我々は学んできたわけであり、
2. このホテル飼育事業を先導していた名古屋市水質保全課は、その試みの欠陥について早々に気づき、ホテル飼育事業の推進から撤退しております。現在は組織的にも解体し、水質保全課は廃止され、存在しません。行政の動きに比べて、RCの対応が遅いというのは、単年度の委員会が、前年度に引き続いて事業を行っていく仕組みにあると考えられます。
3. 実際に飼育を行っている熱田神宮の担当のお考えですが、林営課の方々は飼育の継続を希望し、保安面を預かる総務課は中止を希望しております。保安面の懸案事項としましては、テレビなどで知られるようになった南神池のホテル乱舞を見学に来る近隣の住民が増え、事故の不安が増していると言うこととございます。実際、観賞会の翌日以降も南神池周辺に、多くの人が連絡もないまま進入している事実があり、転倒や池への転落など心配する声が生宮の総務課の中にあります。
4. 当クラブが飼育放流事業に取り組んだ1991年当時、まだ知られていなかった動植物の人工飼育に関する研究が急速に進みました。保全生態学の指摘する所に寄りますと、人工飼育が、生物多様性の崩壊、遺伝子の攪乱に手を貸す可能性が高いと言われております。今日は保全生態関連書籍の中から、生物多様性に関する一文を紹介いたします。
「全ての種は、種内に遺伝的多様性を保持しており、この遺伝子レベルでの多様性を保全することは、生物多様性を保持する上で非常に重要である。同一種に分類される生物でも、河川や山地、島など、地理的に隔離された地域個体群の間では、地域ごとに異なる遺伝子を持っている。つまりこれが種内における遺伝的多様性を保持していると言うことで、これを保全することは、この地域個体群を保全することが重要だが、残念なことに現在は様々な人為的影響により、地域個体群の消滅が進んでいる。人為的な個体の移動、移入による種や地域個体群の遺伝子の攪乱、生態系の攪乱、飼育下の固体と野生固体の交雑による遺伝的多様性の低下、喪失の例が見られるようになった。」とされております。
5. 生物多様性条約というものがあるが国際的に結ばれており、その国際会議が2010年に名古屋で開催予定です。この地でその様な国際会議が開かれると言うことは、ホテルを含めまして、自然環境をいかに保全するかと言うことに対して、新しい知見が得られるであろうと考えております。RCとしては、この時点をもって長年続けて参りましたホテルの人工飼育事業から撤退するべきであると考えております。

今週卓話

2月1日(木)

卓話講師:中電興業株式会社 企画部 部長 谷 伸司氏
テーマ:「日本の文化『落語』」

次週行事

2月7日(水)

西名古屋分区 I.M:

於:名古屋マリオットアソシアホテル16階
「タワーズボールルーム」
※2月8日(木)は振替により休会

2007～2008年度名古屋瑞穂ロータリークラブ組織

会長	岩本成郎	役員	クラブ奉仕委員長	高須洋志	理事
副会長	増田盛英	役員	職業奉仕委員長	高木勝	理事
会長エレクト	松井善則	役員	社会奉仕委員長	田中政雄	理事
直前会長	遠山堯郎		国際奉仕委員長	平野好道	理事
幹事	西本哲	役員	会員選考委員長	天野正明	理事
会計	岡村達人	役員	親睦活動委員長	長坂邦雄	理事
S . A . A	守谷巖樹	役員	新世代委員長	松波恒彦	理事
副 S . A . A	長瀬憲八郎		ローターアクト委員長		理事
副幹事	田口豊		会場委員長	渡辺喜代彦	理事
			R財団委員長	伊藤豪	理事
			プログラム委員長	近藤雄亮	理事
			長期ビジョン座長	大島浩嗣	理事

奉仕区分	委員会名	委員長	副委員長	委員		
クラブ奉仕	クラブ奉仕	高須洋志	野崎洋二	加納裕(兼)	天野正明(兼)	亀井直人(兼)
				渡辺喜代彦(兼)	長坂邦雄(兼)	近藤雄亮(兼)
				遠山堯郎(兼)		
	出席ニコボックス	加納裕	田中隆義	泉憲一	岩田修司	梅田朋嗣
	会員選考	天野正明①	小串和夫①	鈴木圓三③	景山和明②	大和哲郎②
	職業分類					
	会員増強及び退防					
	クラブ広報	亀井直人	堀慎治	落合諭	宮崎信次	梅村昌孝
	親睦活動	長坂邦雄	倉澤寛	大川嘉成	佐藤一郎	入山治樹
	プログラム	近藤雄亮	本多清治	嶺木一夫	佐藤善乙	
R情報	遠山堯郎②	田中英雄①	足立謙祐③	守谷巖樹(兼)②		
会場	渡辺喜代彦	岩崎道夫	平野哲始郎	稲垣豊	入江理	
			八木沢幹夫	馬場将嘉(兼)	市岡正蔵	
職業奉仕	職業奉仕	高木勝	近藤洋輔	中川啓二郎	大島浩嗣(兼)	森恒夫
				景山和明(兼)		
社会奉仕	社会奉仕	田中政雄	水谷由紀夫	森真佐雄	岩根敬泰	稲葉徹
				松岡道弘(兼)		
	環境保全	松岡道弘	岩田吉廣	布目徳	稲葉徹(兼)	
	新世代	松波恒彦	松井善則(兼)	長瀬憲八郎(兼)	高須洋志(兼)	細川達也
			内田久利			
ローターアクト		松井善則(兼)	岡本忠史	高須洋志(兼)	入江理(兼)	
吉木洋二						
国際奉仕	国際奉仕	平野好道	宗宮信賢	高村博三	高須洋志(兼)(延平班長)	
	R財団	伊藤豪	宇佐美貞夫	舘健吾	増田盛英(兼)	越原一郎
	米山奨学	馬場将嘉	西初彦	山田鎮浩	江口金満	
長期ビジョン	大島浩嗣			高村博三(兼)	遠山堯郎(兼)	松井善則(兼)
				天野正明(兼)	稲葉徹(兼)	高須洋志(兼)
				田口豊(兼)		

○内の数字は委員就任年数

第2760地区出向者	遠山堯郎⑥(新世代副委員長)①(ロータリー未来) 稲葉徹②(社会奉仕委員) 高須洋志②(RAC委員) 増田盛英②(財団学友委員) 天野正明①(クラブ奉仕委員) 大島浩嗣①(職業奉仕委員)
------------	--